

# 但馬沿岸藻場の現状

沿岸域の藻場は、ワカメのように直接的に食用として利用されるだけでなく、「アワビやサザエなどの貝類資源の餌料」、「幼稚魚の棲み場」、「海域の浄化や保全」など、様々な形で水産生物の保護・育成に役立っています。

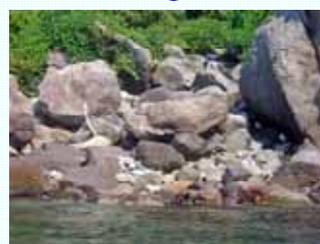
では最近の沿岸域の藻場はどうなっているのでしょうか？観察結果を事例ごとに見てみましょう。

**急斜面から続く海岸線では、**  
直接的な波浪の影響が強いことから  
大型海藻類の繁茂は少ないようです。



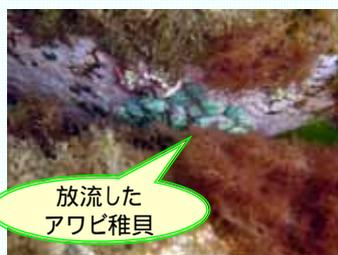
急な斜面に残った小型海藻

**転石帯が続く海岸線では、**  
ワカメやクロメ、ホンダワラ類等の大型海藻類  
が繁茂し、アワビやサザエの好漁場です。



転石に繁茂するワカメなどの大型海藻類

**静穏な入江や漁港近辺では、**  
波浪が穏やかで、小型海藻類が豊富です。種苗  
生産したアワビ等の放流場所に適しています。



放流した  
アワビ稚貝

**漁港内のブロックや砂泥底では、**  
アマモ場やガラモ(ホンダワラ類)場が形成され、  
幼稚魚の天然のゆりかごになっています。



ガラモ場



アマモ場



アマモ場を群泳する小アジ